

硬膜外無痛分娩について

□方法のあらまし

硬膜外麻酔または、**くも膜下脊椎麻酔**を用います。

硬膜外麻酔は背中から細いカテーテルを挿入して硬膜の外に持続的に薬液を注入する方法です。くも膜下麻酔は硬膜の中へ、薬液を注射する方法です。

両方を組み合わせることもあります。

どの方法も、**使用する薬剤が赤ちゃんに影響することが殆どありません。**

□無痛をしない自然分娩との相違点

基本的に【陣痛間隔 15分・10分・入院】してから、児誕生まで**絶食、**

水分は、水・お茶・スポーツドリンク・経口補水液のみ

(初産婦の方は陣痛間隔 8分おきからゼリーと上記水分のみ)

無痛開始後**ベッド上安静**とし、点滴、陣痛や血圧の持続モニタリングを行い、尿道カテーテルを挿入します。

血圧低下などの副作用を早期に発見し、予防するためです。

□合併症：

陣痛促進剤の使用、微弱陣痛による**分娩時間の延長・吸引分娩の増加**

血圧低下、**頭痛(1%)**

非常にまれではあるが、麻酔の効きすぎ、硬膜外血腫や膿瘍、髄膜炎、神経障害などの重篤な合併症の報告もあります。

□足立病院における無痛分娩実施の現状について：

上記のように、安全に無痛分娩を行うためには、人手と設備が必要です。

可能な限り、お応えできるように努力しておりますが、**緊急対応、設備上の都合などにより、ご希望通りのタイミングで開始できない事があります。**

平日（月曜日～金曜日）9時—16時：病院内待機

上記以外：病院外待機、1時間以内

以上の点について説明を行いました。

説明医師

足立病院麻酔科

□無痛分娩のあらましについて説明を受けました。

□対応できない場合があることも理解した上で、無痛分娩を希望します。

(現在のところ計画分娩は希望しない)

□計画分娩（選択的無痛分娩）を希望します。経産婦のみ

□無痛分娩を受けるかどうかは未定

年 月 日

署名

配偶者などの署名
